



来月初め完成へ 身障者センター

機能回復訓練生募る

市内法蓮町鴻の池に昨年十二月着工した市の身障者福祉センターは、建設市長の「四月には完成させよ」との奮励もあって急ピッチで工事がすすみ、五月はじめには開所できる見通しとなりました。

敷地は千六百七十六平方メートルで、鉄骨平家建て二むね七百六十八平方メートルの近代的建物です。外部はすでに出来あ

がり相談室、診療室、職業訓練室、機能訓練室、浴室、談話室(食堂)、図書室など室内の仕上げに懸命です。

このセンターには二百人が収容でき社会復帰への喜びを与える場所となりますが、これに先立ち市福祉事務所福祉課では、ここに入る訓練希望者を募集しています。機能回復訓練で週に二、三回通ってもらうことになり、訓練開始は五月中旬の見込みで無料です。希望者は急いで福祉課(電話〇一一二番)へ申し込んでください。

写真は完成近い身障者センター

「福祉天国」へ諸施策

身障者や老人、まず優遇

奈良市では、ことしの市政の基本目標を「ほほえみいっぱい、のまちづくり」に置いて、その一つとして奈良を福祉天国にしようとして社会福祉に力を入れることとしています。四月の新年度とともに、さっそくいろいろな具体的施策が表面に出てきました。身体障害者には「有朋手帳」による市内バスの無料利用、重度身障者への日常生活用

具給付、また老人福祉としては「老春手帳」による各種の優遇策などがあげられます。両手帳については、市の方で調査して自動的に渡すことにしています。調査もれがあった場合は遠慮なく申し出てください。それぞれの内容はおおむね次のとおりです。

有朋手帳 身体障害者にもってもらいます。この手帳には奈良交通の

ほほえみ一杯 今日も一日「ごころうさん」

早寝早起き運動

わたしはこう思う



市立鶴舞保育所長

トニー・グリーン神父

私は、「ごころうさん運動」について、多くの人にたずねてみました。その中でご婦人たちが、お年よりの意見は「お役所のエライさんたちはかかないまへんあ」ということが、大方の意見だったように思われます。大いの人々は、しばしば役所へ通うというわけではなく、何か問題があるときにしか行くので、この印象が特に強くなるのではないかと思います。しかし、「ごころうさん運動」が始まってからは、役所の人々の態度が変ってきたようにだと沢山の人が私に話してくれました。

原子とコンピュータの時代を迎え、さらに人口の増加によって、人間関係にも多くの断絶が生まれつつあります。このような時には、この運動は、健全な人間関係を再現するために、大へん有効

な運動だと思います。お金では買えないほどの価値あるほほえみも、わずかな努力で出来るのではないでしようか。

この運動は、単なる政治のスコパーガンではなく、心から意義深いものだと思ふ一方、多くの市民は、この運動がシャボンのあわのように、はかなく消えてしまうのではないかと心配しているようですが、そのようなことにならないために、私たちが力をあわせて盛りあげなければならぬわけですね。

ある日、私が車を運転していたとき、沢山の車が数分なぎにたっていました。そこへダンブカーが物すごい勢いで走って来て、私の車の前に強引に割りこんできました。私は冷汗を流して急ブレーキをかけながら「はかもの」と、

思わず叫んでしまいました。そうになりました。でも私は「ごころうさん」ということを思い出して、くり返しそのことを思い出しているうちに、ほほえみを感じるようになったのです。おそらく彼は大へんに急いでいたのでしょうし、家族と国家のために一生けんめい働いていたのでしよう。

このような運動によって、年々激しさを増す交通戦争を解消し、年間一万余とされる悲惨な事故死も避けられると思います。奈良市だけではなく、運動の輪を全国に、全世界に広げることが出来るでしょう。世界の国々が互いにほほえみをかわしながら、同時に片方で戦争をするなど出来るでしようか。

二十世紀は、米ソの世紀だといわれています。しかし二十一世紀は、間違いなく日本の世紀になるでしょう。日本はこの「ごころうさん」精神によって、世界の真の良き指導者に成長していくでしようか? それとも、驚くべき経済大国だけで終わってしまうでしようか?

「お母さん、ごころうさん」

母子家庭の子の成人祝ってねぎらう会

女手ひとつで育てあげた愛児が、ことしめでたく成人の年を迎えたお母さんを招き、その労をねぎらうとともに、その成人の将来を祝い励まそうという催しですが、今年始めて市でおこなわれます。「母子家庭の母をねぎらう会」で、五月二十四日(日)に午前十時から椿井小学校で開きます。

貸付限度を増額

母子福祉生業資金

母子家庭は、四月二十五日まで市内東寺林町、市社会福祉事務所福祉課(電話〇七二〇三番)へ文書で届けてください。

母子家庭の経済的自立をはかるため、市が貸し出している母子福祉生業資金は、今年度から貸し付け限度額が大幅に引き上げられました。またその償還にも貸し付けの翌日から六カ月の据置き期間が設けられるなど優遇措置もできました。

生業資金は限度額が十万円と従来の倍になり、また生活資金は小口が五万円(従来は二万円)支度資金が七万円(同三万円)とそれぞれ増額されたわけで、希望者は市社会福祉事務所福祉課(電話〇七二〇三番)へ申し込んでください。

善意の「投げ銭」

3月中に33,138円

去る三月十一日除幕した近鉄駅前広場の行基噴水は、その後周囲に幼児などの危険防止にこじんまりとしたパイプのサクを設け、さらにそのぐるりに玉ツゲの鉢六十三個を配置して景観をととのえました。

行基像は奈良を訪れる観光客の話題を呼び、ローマの「トレビの泉」のように、池への投げ銭は絶えず、三月三十日までの二十日間に総額三万三千三百三十八円に上りました。

このおさい銭は、旅先などで旅費に困った人にご用立てることになっていますが、去る四月二日に鳴門市撫養町から選抜高校野球の応援に来た三十歳ぐらいの男性が、万国博を見て奈良見物のあと旅費がなくなったというので、この「行基資金」から電車賃を借用したのが第一号。また同じ日、市内の二人の小学生(四年と六年)が映画見物で財布を失い、帰りの電車賃を恵んでもらいました。

近鉄ビル内の市観光案内所に行基資金を預かり、いつでもご利用してできるように保管します。

四月二十日
ゴミ収集日を変更
九日(水)

「天皇誕生日」のゴミ収集は五月二日(土)に、五月五日(火)「こどもの日」の収集は五月八日(金)にそれぞれ変更します。(清掃事務所)

軽自動車税(全期分)

納期は4月30日まで

「保存」が絶対優勢

一部開発には条件つき賛成

保存と開発

奈良市は、古都としての保存と、近代都市としての開発の相克に悩んでいますが、一般市民がこの問題を住民としてどう捕えているだろうか。つまり「保存」と「開発」のどちらに重点を置いて考えているかを問う、さらに時代の要求で、開発もやむを得ないと思われる事態に当面したときは、はたしてどのように考え方が変わるかという点まで突っ込んでみました。

まず一般的な問題として「古都としての保存」と「近代都市としての開発」とでは、どちらを重く考えるかという設問に対しては、六六・七％が「保存」を優先すると答え、「開発」を優先する一三・八％で、保存論者が圧倒的に多かった。ただ、問題が問題だけに「わからない」と答えた層が一九・五％あり、保存優先は男女ほぼ同率ながら男性(六七・九％)が女性(六六・〇％)より

かすかに多く、年齢別では男性の四十年代(八一・三％)が最も多く、ついで女性の二十代(七二・二％)同四十年代(六九・二％)男性三十年代(六八・九％)女性三十年代(六八・三％)男性六十以上(六七・七％)とつづき、保存に比較的熱意の薄いのが女性六十以上(五八・五％)男性五十代(五〇・〇％)と高年齢層であったのは、いささか意外のように思われます。

一方「開発」優先は、女性とは逆に二十代の男性(二五・〇％)に多く、ついで五十代の男性(二二・五％)ですが、女性には各年齢層(年代別六・八％～一三・二％)とも比較的少ないようです。そのかわり「わからない」という層(年代別一四・八％～三三・四％)が多く見られます。

教育程度別に見ると、「保存」を優先するものは旧高専以上大学卒業者で七九・一％、旧中学と高校卒で六九・七％、小中学卒で五九・四％と、はつきり傾向づけられます。一方「開発」優先は、女性とは逆に二十代の男性(二五・〇％)に多く、ついで五十代の男性(二二・五％)ですが、女性には各年齢層(年代別六・八％～一三・二％)とも比較的少ないようです。そのかわり「わからない」という層(年代別一四・八％～三三・四％)が多く見られます。

調査対象者のうち、何かの用事で最近市役所を訪ねたことのある人は四二・六％あり、これらの人に市役所の印象をたずねてみると、「市役所のふんいきは明るくなった」とと、はつきり傾向づけられます。一方「開発」優先は、女性とは逆に二十代の男性(二五・〇％)に多く、ついで五十代の男性(二二・五％)ですが、女性には各年齢層(年代別六・八％～一三・二％)とも比較的少ないようです。そのかわり「わからない」という層(年代別一四・八％～三三・四％)が多く見られます。

調査対象者のうち、何かの用事で最近市役所を訪ねたことのある人は四二・六％あり、これらの人に市役所の印象をたずねてみると、「市役所のふんいきは明るくなった」とと、はつきり傾向づけられます。一方「開発」優先は、女性とは逆に二十代の男性(二五・〇％)に多く、ついで五十代の男性(二二・五％)ですが、女性には各年齢層(年代別六・八％～一三・二％)とも比較的少ないようです。そのかわり「わからない」という層(年代別一四・八％～三三・四％)が多く見られます。

市役所

親しまれる市役所、明るい窓口—これは市政執行の第一番に挙げているスローガンですが、はたして市民は、これをどう受け取っているかを最近市役所へ行ったことのある人について調べ、市庁舎改築についての意見も聞いてみました。

市民だより

九割以上が読む—市当局と市民を結ぶパイプの役割りとして、毎月二回ずつ発行し全世帯に配布している「市民だより」がどの程度市民に読まれ、どう受け取られているかについて聞いてみました。

まず、「市民だより」が読まれていくかどうかについては、全体の六七・八％が「よく読んでいる」と答え、二四・一％が「たまに読む」と

て全世帯に配っている「市民だより」をお読みになっていますか。

よく読んでいる	67.8
たまに読む	24.1
来ているが読まない	5.5
来ているかどうか知らぬ	1.3
来ない	1.3

「読んでいる」と答えた人に「市民だより」は、いまのままでよいと考えますか、そうは思いませんか

いまのままでよい	60.1(65.4)
そうは思わない	20.6(22.4)
わからない	11.2(12.2)
(読んでいる)	(91.9)(100.0)

「いまのままでよくない」と答えた人に「それでは、どういふ点を改善したらよいでしょうか。(複数回答)」

編集をもっとすっきりと	3.3(13.2)
よいことばかり書きすぎ、改めること	5.4(21.5)
紙をよくし、印刷をもっときれいに	0.6(2.4)
写真をもっとよく	0.5(2.0)
啓発記事を多く	1.6(6.4)
「お知らせ」をできるだけ多く	4.0(15.9)
配達を早く	5.7(22.7)
その他	3.2(12.7)
とくにない	0.8(3.2)
(今のままでよくない)	(25.1)(100.0)

「読まない」と答えた人に「それでは、「市民だより」に興味はありませんか、興味はある、興味はない

興味はある	1.9(34.6)
興味はない	2.4(43.6)
わからない/答えない	1.2(21.8)
(読まない)	(5.5)(100.0)

【広報】—市政を知る媒体

あなたは、市政のことを—ばんに何で知りますか。

市民だより	47.9
新聞	32.6
人からの話	8.4
テレビ	5.1
広報車	0.5
ラジオ	0.2
その他	1.0
とくにない	4.3

【広報】—市政への関心

あなたは、市政に対して関心のあるほうですか、あまりないほうですか。

大いにある	18.9
いくらかある	47.7
あまりない	26.9
まったくない	3.2
わからない/答えない	3.3

【広報】—市民だより

あなたは、奈良市で月2回発行し

賛成	33.4
反対	38.2
わからない	28.4

【保存と開発】

あなたは、奈良市の開発について「古都としての保存」と「大阪の近郊都市としての開発」と、どちらを重く考えますか。

古都としての保存	66.7
近郊都市としての開発	13.8
わからない	19.5

時代の要求で、一部開発もやむを得ないという場合、あなたは、古都としての保存を犠牲にすることもやむを得ないと考えますか、あくまで保存を優先に考えますか。

絶対に保存を	18.4
開発してもよい場所だけを開發する	52.5
場所を変えて開発	9.2
保存をあきらめる	8.2
わからない	11.7

【市役所】

あなたは、このごろ市役所へ出向かれたことがありますか。

ある	42.6
ない	57.4

(以下「行ったことがある」と答えた人に)市役所のふんいきは、明るくなったとお感じになりましたか、それとも変わっていないと思いませんか。

明るくなった	27.7(65.0)
変わらない	11.3(26.5)
わからない	3.6(8.5)
(行ったことがある)	(42.6)(100.0)

市役所の玄関を入ったところの窓口が、改装されたのにお気づきになりましたか。

気づいた	29.2(68.5)
気づかない	13.4(31.5)
(行ったことがある)	(42.6)(100.0)

出向かれたときの職員の応接態度は、どうでしたか。

大へんよかった	7.9(18.5)
いくらかよい	15.4(36.2)
ふつう	11.6(27.2)
すこしよくない	5.1(12.0)
全くよくない	1.9(4.5)
わからない	0.7(1.6)
(行ったことがある)	(42.6)(100.0)

(全部に)いまの市役所は、古くなったので建てかえたらという意見がありますが、あなたは建てかえに賛成ですか、反対ですか。

賛成	35.2
条件付き賛成	16.2
反対	23.3
わからない	25.3

【質問とその答え】

あなたは、奈良市の開発について「古都としての保存」と「大阪の近郊都市としての開発」と、どちらを重く考えますか。

古都としての保存	66.7
近郊都市としての開発	13.8
わからない	19.5

時代の要求で、一部開発もやむを得ないという場合、あなたは、古都としての保存を犠牲にすることもやむを得ないと考えますか、あくまで保存を優先に考えますか。

絶対に保存を	18.4
開発してもよい場所だけを開發する	52.5
場所を変えて開発	9.2
保存をあきらめる	8.2
わからない	11.7

【市役所】

あなたは、このごろ市役所へ出向かれたことがありますか。

ある	42.6
ない	57.4

(以下「行ったことがある」と答えた人に)市役所のふんいきは、明るくなったとお感じになりましたか、それとも変わっていないと思いませんか。

明るくなった	27.7(65.0)
変わらない	11.3(26.5)
わからない	3.6(8.5)
(行ったことがある)	(42.6)(100.0)

市役所の玄関を入ったところの窓口が、改装されたのにお気づきになりましたか。

気づいた	29.2(68.5)
気づかない	13.4(31.5)
(行ったことがある)	(42.6)(100.0)

出向かれたときの職員の応接態度は、どうでしたか。

大へんよかった	7.9(18.5)
いくらかよい	15.4(36.2)
ふつう	11.6(27.2)
すこしよくない	5.1(12.0)
全くよくない	1.9(4.5)
わからない	0.7(1.6)
(行ったことがある)	(42.6)(100.0)

(全部に)いまの市役所は、古くなったので建てかえたらという意見がありますが、あなたは建てかえに賛成ですか、反対ですか。

賛成	35.2
条件付き賛成	16.2
反対	23.3
わからない	25.3

【広報】—市民だより

あなたは、奈良市で月2回発行し

賛成	33.4
反対	38.2
わからない	28.4

極的な層(一七〇人)の八四・七％がやはり読んでいると答え、その時の市政の動きを伝える「市民だより」が一応パイプ役を果たしていることを物語っています。

さて、その「市民だより」の、あり方はどうか。「読んでいる」と答えた九一・九％の人に「市民だよりは、今のままでよいか、どうか」を聞いてみました。これに対し「現状に満足」と答えた人は六〇・一％(読んでいない人の六五・四％)で、二〇・六％(同二二・四％)が何らかの改善を求めています。その改善点をあげてみると「配布を早くしてほしい」というのがトップで、あとは内容について「手前みそが多すぎる」「お知らせ記事・啓発記事をもっと多く」と要望、また紙面について「編集をもっとすっきりせよ」と求めています。

奈良市政が、いまだどんな姿勢でどの方向にむかっているかを、市民のみなさんに知ってもらうため、市では「市民だより」のほか地元新聞に毎週掲載の「市役所週報」、随時発行の刊行物、ビラ、広報車、さらに校区ごとに開く市政懇談会を通じて広報活動をおこなっています。

ところが市民の側では、いったいどんなメディアを頼りに市政のことを知っているのかわかるか、その媒体は何であるかを具体的に知るために、全調査対象に対し「あなたは、市政のことを何で知ることが一番多いか」とたずねてみました。

その結果は「市民だより」と答えた人が一ばん多く四七・九％、その次に「新聞」三二・六％で、その他のメディアとして「人からの話し」「テレビ」「広報車」とつづき、「市民だより」が一ばん有力な媒体であることがわかりました。そして「市民だより」を頼りにする人を男女別にすると、やはり家庭にあってじっくりと読む女性の方が接触率が高く四九・二％、男性の方は四五・七％でした。ところが「新聞」になると、これは逆に男三九・九％女二八・一％となっています。



赤バイ隊出動 火の見張りに機動力

「消火器を使わない消防」「火災ゼロのまち」をめざして、今年度奈良市消防本部が新設の「赤バイ隊」がいよいよお目見え。一班三台編成の二個班で、三三二五ccの強力エンジンをそなえた文字通りの赤バイ。隊員もヘルメットから皮ジャンパーまでが赤づくめ。子どもが思わず「カッコイイ」と叫ぶようないでたち。救急ロープ、粉末消火器、携帯無線電話器など七つ道具を装備して、赤トンボのようにスイスイと町をパトロールする。

出火時の初期消火はもちろん、路地奥まで回って火の元点検や危険物の発見・処理、消防水利や消防通路の確保などに活躍。無線電話で常時消防本部と連絡をとって、四六時中火の見張りをつとめます。

体制整備された四月十一日朝、赤バイ隊は市庁別館前で磯田市長の視閲を受け「きょうから第一線に就く。派手な仕事だが心は常に地味に謙虚であれ」と訓示され、全員元氣よく操音をのこして市内パトロールに行きました。写真は勢ぞろいした「赤バイ隊」。(市消防本部前)

和楽園の第一期工事完成

市内紀寺町にある社会福祉法人奈良市和楽園(植田美三郎理事長・百二十七人収容)の改築第一期工事が完成。四月八日関係者約五十人が参列して新装の一階食堂で落成祝賀式をあげました。

植田理事長は「美しい充実した施設ができ、在園の老人とともに「喜んでいよう」とあこがれ、川口市助役ら来賓も、老人に思いやりの祝辞を述べました。

和楽園は余生を養う老後いこいの場として昭和七年「奈良養老舎」の名で同地に開園、三十七年もたつて老朽がひどいため改築を急いでいるもの。第一期工事は居住室を重点に昨年九月、総工費五千三百五十四万円を着工、鉄筋コンクリート二階建て(延べ千三百七十九平方メートル)八畳の和室(四人)二十五室と寮母室、食堂、調理室、浴室などを近代的に新設、明るくゆたかりしています。この改築をよるこんで在園の老人も小遣いを資金に寄付するなど、美談を織り込んでの改築です。



老人喜びの寄金も

第二期工事は来春完成の予定で、管理施設のほか十二の夫婦室などが新築され、最終的には百五十人が住めます。写真は完成した園舎

善意で「ちびっこ広場」を 空地进行貸してくれませんか

自動車の激増による交通戦争の激化で、子どもは遊び場を失い、生命の危険にさらされたままです。奈良市では市民運動の一つとして、子どもに安全で楽しい遊び場を提供しようと「ちびっこ広場」づくりを進めています。

「ちびっこ広場」は三十三、五十平方メートル程度以上の空地を無償で借りて、これを市の手で整備、低鉄棒やブランコ、すべり台など遊具を設備して、その地区の子どもに開放するもので、今までに四十カ所ばかりつくりました。四十五年度も十カ所をつくる予定で予算を組んでいます。

自動車の激増による交通戦争の激化で、子どもは遊び場を失い、生命の危険にさらされたままです。奈良市では市民運動の一つとして、子どもに安全で楽しい遊び場を提供しようと「ちびっこ広場」づくりを進めています。

「ちびっこ広場」は三十三、五十平方メートル程度以上の空地を無償で借りて、これを市の手で整備、低鉄棒やブランコ、すべり台など遊具を設備して、その地区の子どもに開放するもので、今までに四十カ所ばかりつくりました。四十五年度も十カ所をつくる予定で予算を組んでいます。

新入生に花束おくる

佐保小学校青空入学式



都跡婦人会へ表彰状

身障児への奉仕二年間

都跡婦人会(会長貞藤美佐子さん、会員七百八十八人)へ厚生大臣からの表彰状が三月二十七日市立都跡小学校で伝達されました。これは同婦人会が、市内五条町国立奈良療養所パンピ病棟に入院中の重度身障児のせんたく物、オシメたみ、身の回りの世話など、四十三

市民相談室から

ふえた財産関 四十
係のいざこざ 四年度
の市民
相談室の取扱件数は九一四件で、四十三年度(七四七件)よりかなりの利用増加がありました。

そのうち市政相談は前年度二一七件に対し、四十四年度は一五七件と減少し、法律問題、心配ごとなどの個人相談は前年度五三六件に対し、七五七件と相対増加がありました。

相談内容はいずれも前年と同じ傾向がみられ、市政相談ではやはり道路、側溝などの改修、補修などを要望するものが一番多く二九件(前年五六件)、生活苦をうったえるものなどで福祉事務所関係一八件(前年二九件)、戸籍事務など手続き上の相談で市民関係一八件(前年

「子ども会」横 奈良市内で町内や地区単位で組織されている「子ども会」が、現在百八十にも及ぶと見えています。これら「子ども会」は従来個々に運営され、行事や活動もバラバラで、盛んなところもあれば、低調なところもあつてまちまちになっているのが現状。

市教育委員会青少年課(電話〇三三三四番)では、これらの横の連絡を密にし、運営や活動、行事などの情報を交換し合い、たがいに楽しめる「子ども会」に成長していくことをはかむために、会の育成者連絡会と



市役所の窓口可愛いパンピ・ボックス シンカの色をデザインした茶色の箱が二つ「あなたのご意見をお聞かせ下さい」と呼びかけています。備えつけの調査票には性別、年齢、窓口番号、職員の応接態度、待ち時間のほか自由欄もあります。

月平均四十、四十五通の投書があつて「通称町名を行政町名に統一してほしい」「庁内の空気が悪いので換気を十分に」といったのや「窓口嬢を美人ぞろいに」「市役所へ来るのが楽しくなった」などほほえましい「意見」もぞくぞく。

中小企業者へ融資
奈良市では、中小企業者のためにつぎのような融資制度を設けています。ご利用ください。

一、小口融資 市内で引きつづき六カ月以上同一事業を行なつており、事業の運転資金を必要とする業者、貸しつけ限度額は五十万円。

二、近代化設備資金 同様六カ月以上で、設備の近代化をはかるための共同施設、工場、店舗の改築、増設および機械の購入費を必要とする業者、貸しつけ限度額は二百万円。

三、無担保無保証人小口融資 同様一カ年以上で、事業の運転資金を担保や保証人なしで融資、貸しつけ限度額は五十万円。(詳細は市観光工商課商工係電話〇一一一―番へ)

全世帯に住民実態調査 基本台帳の正確を保つ

奈良市では四月中旬から全市域にわたって住民実態調査を実施します。この調査は住民基本台帳法の定めによって、毎年一回ずつ行なうもので、同基本台帳をいつも正確に保つために必要とされています。

住民基本台帳は、市民としての権利義務のキメ手となるものだけに、万一間違っていたら住民票の写しや印鑑証明の発行だけでなく、選挙権をはじめ国民健康保険、国民年金、学給簿、米穀配給などの資格等にも影響します。これを防ぐために、市では職員のほか委託した調査員を動員して全世帯の調査をするもので、七月末には完了したい

成人病検診

市の成人病検診

五月に次の日程で行なわれます。四十歳から六十四歳の方の受診を待っています。検診は問診のほか血圧の測定、検尿、検便のほか必要人には心電図測定、眼底検査もします。受診のときは、親指大の便を入れたマツチ箱に名前を明記して持ってきてください。今までに受診したことのある人は「成人病検診カード」をお忘れなく。受診料はいりません。(時間は各日とも午後二時～三時三十分、カッコ内は受診場所)

- 十二日(火) 平城地区(平城小学校)
- 十三日(水) あやめ池(旧あやめ池連絡所)
- 十八日(月) 学園(西消防署)
- 十九日(火) 富雄(富雄中学校)
- 二十二日(金) 都跡(都跡連絡所)
- 二十五日(月) 伏見(伏見連絡所)
- 十六日(火) 飛鳥(飛鳥小学校)
- 二十九日(金) 大安寺(大安寺南公民館)

小児マヒ予防に生ワクチン

◇もれなく飲ましてください

恐ろしい小児マヒを予防するため、次の日程で生ワクチンの投与を行ないます。こんどの対象児は一回目を受けるのが昭和44年7月1日から同年12月31日

月	日	時間	場所	対象児
5月4日	(月)	2.00~2.30 3.00~3.30	都跡小学校	都跡小学校
5月6日	(水)	2.00~3.00	解治小学校	解治小学校
5月7日	(木)	1.30~2.00 2.30~3.00 3.30~4.00	解治小学校	解治小学校
5月8日	(金)	2.00~3.30	解治小学校	解治小学校
5月11日	(月)	2.00~3.30	解治小学校	解治小学校
5月12日	(火)	2.00~3.30	解治小学校	解治小学校
5月13日	(水)	2.00~3.30	解治小学校	解治小学校
5月14日	(木)	2.00~3.30	解治小学校	解治小学校
5月15日	(金)	2.00~3.30	解治小学校	解治小学校
5月18日	(月)	2.00~3.30	解治小学校	解治小学校

ご婦人の教養 たかめる

婦人学級と女性教室

市教育委員会は、市民生活に必要な教養と技能を身につけ、明るい家庭、明るい社会をつくらせようとして、かねてから「奈良市女性教室(中央婦人学級)」を開講し、さらにその卒業生で「日まわり婦人学級」を開くなどしています。また小学校区単位には「地域婦人学級」を開講します。今年度の開講要領は次のとおりです。

【第25回女性教室】学習内容一般

広げよう 友情の輪を

第二回少年大会

市教育委員会と市青少年指導員会が共催で五月五日の「こどもの日」に平城宮跡で第二回少年大会を開きます。市内在住の小中学生先着順に千人を集めて午前十時開会、体操や軽スポ

三歳児検診

三歳児検診

三歳児は一生のうちで、発育上最も大切な時です。この時期に心と体の両面で正しい発育をしているかどうかを検診し、専門家の指導を受けてください。検診内容は知能テストによる発育状態、身体の発達状況、小児科医による診察と相談で、こんどの対象児は昭和四十一年四月二日～翌年四月一日

生まれ。料金は無料で検診場所は奈良保健所(市内西木辻八軒町)。各地域の日程は次のとおりです。(各日とも午前9時～11時、午後13時～15時)

- 五月七日都跡(鳥見以外)
- 五月十一日富雄(鳥見以外)
- 五月十八日大宮

教室

料理と園芸

四月、市教育委員会の「高円料理教室」と「園芸教室」も新学期を迎えました。ゆたかな市民生活の学習をめざして、次のとおり同好者を募集しています。受講希望者は四月二十八日まで、往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号(料理教室は希望の期間と曜日)を書いて、市内紀寺町高円公民館あて申し込んでください。

3周年記念行事

市青少年児童会館

昭和四十二年五月、市内西木辻八軒町に市青少年児童会館が開館して今年で三周年、市内青少年と児童の社会活動や教養のセンターとして、いろいろな分野に実績を積み重ねてきました。その記念事業としてこの五月に一週間にわたり、つぎのような催しをします。参加希望者は五月二日までに往復はがきに住所、氏名、年齢、職業と参加種目を書いて市教育委員会青少年課(市内紀寺町)か市青少年児童会館(市内西木辻八軒町)へ申し込んでください。

【園芸教室】開講期間：前期五月、後期九月～十一月、毎週金曜日午後一時～四時。対象：市内在住者(過去に受講された方を除く)。七十人。講師：牧浦勇氏(奈良教育大学)。受講料：無料

配管工の採用試験

来月4日市水道局

市水道局では技術職員(配管工)の採用試験をつぎの要項で行ないます。受験希望者は四月三十日までに市内東寺林町、奈良市水道局総務課(電話二一八六番)へ手続きをとってください。

応接係り募集

市老人福祉

「老春の家」センター「老春の家」では、思いに来る老人の面倒を見る応接係りを次のとおり募集しています。希望者は随時、市内東寺林町の市社会福祉事務所福祉課(電話二一一一番)へ申し込んでください。

資格：四十五歳までの女子。募集人員：若干名。提出書類：履歴書。給料：月二万五千円、賞与：年一回、厚生年金、社会保険制度あり。